

2025 年度大学入試共通テスト 情報Ⅰ 分析

ホクソム 西蓮寺将巳

【全体概観】

傾向 初年度ということもあり、全体的に難易度、分量ともに落ち着いた出題であった。知識問題はさほど多くなく、現場での思考が要求される問題が並んだ。注目を集めたプログラミングの問題は、ほどよい難易度で、練習の成果が発揮されただろう。

難易度 易・やや易・標準・やや難・難

※難易度は試作問題等との比較によるものではなく、今回の問題のみを踏まえ、受験生の得点率を予想して評価したものです

【設問別分析】

大問	分野	難易度	分析
1	小問集合	標準	問 1 のデジタル署名は正確な理解をストレートに問う良問。 問 2 数学 A の場合の数のような問題。 問 3 チェックデジットに関する出題。クは少し難しい。 問 4 題意が取りづらい。大きさが無限大の物体に対する距離を比較させるのは、無理ではないか。
2 A	情報デザイン・情報システム	標準	POS システムにおいて、連携されるデータの種類を問う。実務的で好ましい出題だが、問題文をよく読むだけで解けてしまう。
2 B	シミュレーション	標準	シミュレーションというより、その結果を考察する問題。発生しうるパターンを具体的に考える必要がある。
3	プログラミング	標準	情報関係基礎のプログラミングの問題と比較すると、穏やかな出題になっている。模試等での練習が十分に生きる出題であった。代入の回数を問うクは少し珍しい。
4	データの分析	標準	尺度水準を答えさせる問題は、正確な知識が求められて少し意外。それぞれの用語の定義を本文で与えても良かった。それ以外の問題は、表やグラフからの読み取りが続く。選びにくい問題はあまりないが、長い本文を読んだうえで丁寧な考察が必要となり、受験生は時間との勝負となった可能性が高い。